



スローガン

若い力で経済建設

(日本JCスローガン)

- 会員数 28名
- 年会費 6,000円

- 初代理事長
小林 貢
(故人)
- 副理事長
和田 良信
深澤 豊吉
- 会 計
稲村 昌男
- 総務委員長
岩下 隆一
- 広報委員長
野々山保雄
- 渉外委員長
大川 仁
- 奉仕委員長
襟川 健二
- 修練委員長
飯塚 剛
- 親睦委員長
嶋田 敬吾

当時の関東地区担当理事だった前橋JC木戸成吉氏の説明によると、JCとは商工会議所とロータリーを合わせて2つに割ったようなもので、それを20歳から40歳の青年が背負っていくものだとのことだった。

やっと戦後の風潮から抜け出し、日本経済もこれからの発展へやっと足がかりを得た頃で、足利ではトリコット業界が急速な発展をする前期でもあった。

設立総会でコトラ工業社長小林貢氏(当時39歳)が初代理事長に推挙され、準備に当たった和田良信氏と深澤豊吉氏が責任上もあって副理事長をつとめることになった。小林氏の活動はまことに意欲的で、初年度としての内部固めはもとより、「県都宇都宮にJCを」と、早速拡大スポンサー活動も始まり、宇都宮、栃木と創立が相次ぐ活況となった。内部固めとして親睦の各種集會や

家族旅行等が行われたのはもとより、小林氏が最年長者として自ら先頭に立って示された組織のトップに立つ者としての自主性、決断力、そして特にキメ細かいマナーは、全会員の指標として尊敬されたものだった。



足利JCの主な出来事

- ◆創立総会(昭和33年3月23日 トリコット会館に於いて)
- ◆友愛の箱設置
- ◆認証式
- ◆家族旅行
- ◆JCデー・1日幼稚園開催
- ◆台風災害地救援運動
- ◆歳末助け合いパーティー
- ◆高校生論文募集
- ◆世界児童画展
- ◆学童交通安全道路標識設置



足利市の主な出来事

- ◆足利-桐生間の電話が直通になる
- ◆織姫公民館が文部大臣表彰を受ける
- ◆水道庁舎が完成



昭和33年当時の柳原小学校前付近

この年の代表的なニュース

- ◆皇太子妃決定
 - ◆定期船「南海丸」沈没
 - ◆勤評反対闘争
 - ◆狩野川台風
 - ◆アジア大会開催
- ☆流行語
「ご清潔でご誠実」、「いかす」、
「ナベ底不況」

☆流行歌

- ・有楽町で会いましょう(フランク永井)
- ・だから言ったじゃないの(松山恵子)
- ・嵐を呼ぶ男(石原裕次郎)
- ・ダイアナ(平尾昌晃、ポール・アンカ)
- ・星は何でも知っている(平尾昌晃)
- ・おい中村君(若原一郎)